

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2022 ▶ 2023



鳥取北ロータリークラブ

● 会長……千金 周一 ● 副会長……入江 容子 ● 幹事……寺本 光孝
● 会計……霜村 哲男 ● SAA……田中 和夫 ● 広報・プログラム委員長……水野 治郎



イマジン
ロータリー

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

国際ロータリーのテーマ

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp <http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/>

本日の例会

2023年2月7日(火) 四つのテスト 第2971回
◆君が代・奉仕の理想 ◆卓話
◆献立 「里山事業報告」森下泰年さん
100万ドルミール 「現代における仏教用語」
◆委員会事項 田中英剛さん
誕生日御祝 ※ 例会終了後、定例理事会「例会場」

次週の例会

2023年2月14日(火) 四つのテスト 第2972回
◆ロータリーソング ◆「第2回」
我等の生業 ロータリー学生表彰式
◆献立 ※ 例会終了後、次年度理事会「例会場」
米山ミール

先週の例会

2023年1月31日(火)

会長挨拶

来月2月18日土曜日に行われる創立記念例会に高知北クラブより10名のメンバーが鳥取に来て頂く予定になっています。今から22年前、2001年2月23日の創立40周年記念のタイミングで鳥取北RCと高知北RCは姉妹クラブ締結書を交わしました。40周年の時はJCの先輩である福本さんが会長をされており、そのタイミングで私も北RCに入会したのでロータリークラブでのキャリアと同じだけ高知北クラブと交流しているという事になります。

では何故高知北RCと姉妹クラブとなったかという経緯については、当時の事を良く知る方々に一度ゆっくり卓話でもして頂きたいと思いますが、道路環境も含めた鳥取・岡山・高知の南北軸というのがキーワードになっていたという風に私は聞いています。高速道路が出来て、高知も大変近くなったように感じます。鳥取に居る私達には南国気分の味わえる高知の気候と明るい人柄は魅力的ですし、高知の人にとっては山陰の風土やカニと

いうのも魅力的だと思われます。そのような経済効果も含め22年の長きに渡り交流は続いていましたが、コロナの影響もあり今回は久しぶりの交流会となります。是非とも楽しい交流会にする為に親睦委員会の方々には活躍して頂かなければなりませんし、高知北クラブの事を良く知っているベテラン会員の方々にもご協力をお願いしたいと思います。

先週の日本海新聞に職業奉仕賞表彰の様子が掲載されていきました。新聞に取り上げて頂いた事は大変嬉しく思いますが、ロータリーの目指す職業奉仕の意味合いなど伝えたい事が抜けていたように思います。一応主旨はまとめて先方にお渡ししたのですが、私の伝え方が不十分だったと思われる。私達の想いをどのように表現すれば記事として成立するのかなど、今後は記事の仕上がりも見据えた上でこちらがリードしていく広報活動というのも必要となっていくように思いました。

幹事報告

1 到着文書

・ロータリーの友事務所よりザ・ロータアン英語版2月号

2 例会変更・メーカー情報

・境港ロータリークラブ

2月7日(火) 職場訪問例会

* ビジター受付あり

2月14日(火) ⇒ 2月10日(金) 合同例会と振替

* ビジター受付あり

・米子東ロータリークラブ

2月1日(水) 休会

* ビジター受付なし

2月8日(水) ⇒ 2月10日(金) 合同例会

* ビジター受付あり

・米子中央ロータリークラブ

2月9日(木) ⇒ 2月10日(金) 合同例会

* ビジター受付あり

- ・米子ロータリークラブ
2月10日(金) 合同例会 *ビジター受付あり
- ・鳥取中央ロータリークラブ
2月13日(月) 休会 *ビジター受付なし
- 3 その他連絡事項
- ・例会後役員会

入江次年度会長より次年度委員長の報告

クラブ運営・親睦委員会	森下泰年さん
会員増強委員会	湊 正彦さん
広報・プログラム委員会	田中英剛さん
社会・環境委員会	千金周一さん
職業奉仕委員会	松原雄平さん
青少年奉仕委員会	福田 収さん
国際奉仕委員会	寺本光孝さん
WEB推進特別委員会	秦野諭示さん

以上よろしくお願ひ致します

※次年度役員は1/17配布No.23号週報に記載済み

米山奨学生 李さんより

遅くなりましたが新年のご挨拶をさせていただきます。私、今年卒業を控え頑張ってお参ります。寒さ厳しき折、皆様どうぞご自愛下さい。

委員会事項

◎出席率報告

1月31日 会員48名中 出席32名 出席率66.72%
1月17日 補正後 出席率72.92%

◎入会記念日御祝

田中和夫さん(19年)、中島規夫さん(6年)

*スマイル報告

(本日11,000円 累計 308,800円 前回297,800円)
千金周一さん 小竹様本日は卓話宜しくお願ひ致します。李さんお久しぶりです。
入江容子さん 雪もやっと一段落。皆様腰はだいじょうぶですか。ご自愛下さい。
寺本光孝さん 先週末は大変な天候にみまわれました。雪かきをしに西部に帰った様なものでした。又、腰痛で大変です。
霜村哲男さん 小竹所長さま、本日はお出でいただき、有難うございます。
田中英剛さん 先月鳥取西RCで、今月は鳥取RCでそれぞれメーキャップしてきました。また新鮮な気分に参加できました。本日の卓話、小竹所長様宜しくお願ひ致します。
植田哲朗さん 先週27日(金)に夫婦で京都1泊旅行をしました。ところが翌日28日はJR便全て運休、急遽連泊になり日曜日に帰りました。しかし28日のホテルから見た京都の雪景色は最高でした。
田村文男さん 日本海新聞に1年間書くことになりました。よろしくお願ひします。
当日欠席 1件
※2大御祝(本日2,000円 累計78,000円 前回76,000円)
田中和夫さん 入会記念日

卓話

「更生保護とは」

鳥取保護観察 所長 小竹小百合 氏

1 更生保護の概要

更生保護とは、犯罪をした者や非行のある少年に対し、通常の社会生活の中で再犯・再非行に至らないよう指導や支援をする仕組みです。保護観察所は法務省の地方出先機関で、更生保護を所管しています。職員数は全国で1900人と多くないですが、更生保護が篤志家や宗教家の奉仕活動から発展した歴史もあり、保護司を始め20万人以上の民間協力者とともに活動しています。とりわけ保護司及び更生保護施設は、保護観察官と協働して活動しており、我が国の更生保護制度の要となっています。

更生保護の主軸は保護観察であり、定期的に対象者と面接して指導や支援を行います。被害者の希望を受け、その心情を伝えることもあります。また、生活環境調整といい、刑務所や少年院に収容中の者が、釈放後に住みたい場所について、調査・調整する業務も行っています。

2 刑務所出所者等への支援の必要性

犯罪者に指導のみならず、なぜ支援もするのか、困難は自業自得であり不要ではという意見があるかもしれません。支援は甘やかしでしょうか。犯罪対策により初犯者は激減しましたが、再犯者はなかなか減りません。それは、再犯者に居場所や仕事がない者が多く、頼る先も失い、生活に困れば再び犯罪に手を染める悪循環に陥っている者が少なくないためです。また、近年は高齢や障害をもつ受刑者が増加しており、その中には地域で孤立し、必要な支援につながらないまま、不安定な生活をおくる者がいます。障害特性があるがゆえに犯罪に至る者、障害特性に付け込まれて犯罪に巻き込まれる者もあり、この場合、特性に応じた支援がないままに出所すると再犯リスクが高いといえます。

そのため、一定期間住まいと食事を提供し自立に向けた支援を行う更生保護施設や、前歴不問で人を見て雇用する協力雇用主の協力、刑務所収容中からの就労支援や福祉・医療につなげる調整などの支援は再犯防止に欠かせないものとなっています。

3 まとめ

犯罪をした者や非行のある少年は、いずれ地域に帰ってきます。罪を犯した者は偏見と排除の対象とされがちですが1人の人間です。保護司等は、思いやりのある態度で保護観察対象者の話を聴く地道な積み重ねを行って関係を作り導いていきます。再犯防止には、罪を犯した者の更生意欲だけでなく、立ち直ろうとする人を受け入れる社会が必要です。更生保護の社会的意義について御理解と御協力をお願いします。

(担当 秦野諭示)

